



20二都第931号

平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

二丈町長 筒井 秀来

(都市整備課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった上記のことについて、別添様式のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福岡県 二丈町

本町は、福岡県の最西端で佐賀県唐津市と隣接していますが、一般国道202号の整備状況（歩道整備や舗装修繕など）が佐賀県よりも遅れているようです。

近年では、通学路の歩道整備等にご尽力をいただき、大変感謝しているところですが、今なお1m未満の歩道や未整備箇所も残されている状況があります。

福岡都市圏においては、国道や歩道の整備が着実に進んでいる状況ですが、地方部ではまだまだ未整備区間が多く残されているという現状をご認識いただき、1日も早い国道・歩道の整備促進をお願いするところです。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②－１ 地域の現状と抱える課題

福岡県 二丈町

○現状

一般国道２０２号では、通学路の歩道が未整備、若しくは危険な箇所が残されている。

西九州自動車道の上深江インターから以西については、当面、共用区間ということで具体的整備計画が示されておらず、片側１車線通行のため、週末や連休などには慢性的な渋滞が発生している。

国道２０２号バイパスは福岡市から前原市の真方信号まで整備が行われているものの、以西の有田西信号間は道路幅員が狭小で急カーブや起伏が多く、交通事故の危険性が高い。

○課題

安全な交通環境実現のため、通学路の歩道が未整備など交通事故の危険性と隣り合わせの状況を１日も早く改善する必要がある。

西九州自動車道の上深江インター付近の渋滞の影響が、一般国道２０２号の渋滞にもつながり、幹線道路としての機能を十分に発揮できていない状況にある。

平成１８年に前原市に設立された「国道２０２号バイパス促進期成会」と共に二丈町でも国土交通省に要望活動を行っている。

国道２０２号の前原市においては市街地が形成され、朝夕及び休日の渋滞による交通事故の危険性が高く、国道２０２号バイパスの整備を行うことで、市街地の交通量の減少による渋滞緩和が大きな課題である。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

福岡県 二丈町

■生活幹線道路ネットワークの形成

高規格道路（西九州自動車道）の早期完成により、九州北西部地域が直結されることで、本地域の産業・観光の発展や、国際化の進展、文化の振興に大きく寄与する。

■慢性的な渋滞の緩和

高規格道路（西九州自動車道）及び国道202号バイパスの真方信号から有田西信号間の早期完成により、一般国道202号の慢性的渋滞が緩和され、より快適な交通空間が創出される。

■交通安全の向上

通学路の歩道整備が進むことにより、交通安全対策が一段と向上し、安心・安全な国道の機能が確保される。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施設の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福岡県 二丈町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 地域活力の向上 ・ 総合的な交通安全対策 ・ 市町村道の整備の規制緩和	・ 地域間を結ぶ歩道整備 (佐波、大入地区～深江地区間) ・ 通学路の歩道整備 (佐波～大入間、福井地区、吉井地区) ・ 地域住民のニーズに対応する補助メニューの創設 ・ 道路構造令の規制緩和	・ 地域間の双方向の往来が可能になることにより、生活利便性の向上や地域の活性化が期待される。 ・ 安心・安全な通学路が確保されることにより、交通事故の防止が図られる。 ・ 小規模な延長、事業費に対する補助メニューを創設して、地域住民のニーズに対応する。 ・ 一定区間の道路改良事業が完了した路線に追加する場合に従前の幅員構成を踏襲することにより、統一した幅員構成や事業費の抑制が図れる。	